



編集・発行

国立大学法人鹿児島大学男女共同参画推進センター 〒890-8580 鹿児島市郡元1-21-24
TEL 099-285-3012 E-mail : gender@kuas.kagoshima-u.ac.jp http://atsuhime.kuas.kagoshima-u.ac.jp/

■ 鹿児島県初の女性副知事の特別講演会開催

鹿児島大学男女共同参画推進センターは、平成29年2月3日に、鹿児島県初の女性副知事である小林洋子副知事を講師にお招きし、特別講演を開催しました。

鹿児島県男女共同参画室と本学男女共同参画推進センターは、センター長が県の委員として参画するなど、日頃から連携、協力しており、鹿児島県初の女性副知事誕生に伴い、官学連携の一環として副知事による特別講演の実現に至ったものです。

小林氏は、労働省に入省後、厚生労働省、内閣府を歴任後、三反園鹿児島県知事の重要政策の担い手として、県政への参画を求められ、平成28年10月に本県副知事に就任されました。

今回の特別講演は、男女共同参画推進センターが、後期に開講している共通教育科目「男女共同参画とキャリアデザイン」の最終授業の一コマとして開催され、受講学生の他、学内教職員を合わせて82名の関係者が聴講しました。

副知事の講演では、平成28年度4月から施行されている「女性活躍推進法」の法整備に直接関わった経験を元に、法整備に至る経緯や国ならびに鹿児島県の男女共同参画の実情について、実際の統計データ等を織り交ぜながら説明がなされ、鹿児島県が現在取り組んでいる事業についても紹介がありました。聴講した学生や教職員からは積極的に質問が出され、「仕事の辛さの中に楽しさを見つける工夫」や「つまらないと感じる仕事の中にも無駄な事は一つもない。そのような時には、自分を成長させるチャンスと捉えること」、「一人で悩みを抱え込まず、良き相談者をつくるのが大切」など、アドバイスやエールが送られ、最後に、副知事として就任した鹿児島県に対する取組みへの抱負を述べられて講演が締めくくられました。

講演会終了後には、本学関係者と副知事を囲んだ交流会が開催され、男女共同参画や労働環境に関して意見交換が行われました。副知事からは、男女共同参画や女性活躍推進には、トップの意識改革や長時間労働の抑制など働き方改革が重要であると述べられるなど、本学への助言をいただく良い機会ともなりました。



学生を前に講演中の小林副知事



講演会終了後の交流会のひとコマ

■ 学長と女性研究者との懇談会開催

男女共同参画推進センターは、平成29年3月2日に、学内の女性研究者と学長との懇談会を開催しました。

本企画は、女性研究者支援活動の一環として、平成22年度より毎年企画されており、今回は、「大学における保育支援」をテーマに開催され、学長を始め、島総務担当理事、石窪特命担当理事、各学系より推薦された女性研究者ならびに男女共同参画推進センター関係者、計21名の参加がありました。

懇談会では、学長の挨拶に始まり、意見交換へと会が進められ、参加した女性研究者からは、研究者に対する支援制度の内容を中心に、保育施設設置の要望や学会参加への支援策に関して意見が出され、また、医療系学部を有する総合大学における国家試験に関わる医療系学部で顕著な課題である育休を始めとした長期休業時取得時の代替教員に係る問題など、直接現場に携わっている関係者でしか述べられない切実な課題や意見等も出されました。その後、参加者から、他大学の取組みの紹介や、研究業績を向上させたくても、学内の委

員会を始めとする会議が多く、ライフイベントに関わらず、時間に余裕がないなどの意見があり、賛同する参加者も多く、本学に求められる支援策ならびに改善策について活発な意見交換が行われました。



懇談会の様子

女性研究者の意見に対し、学長からは、今回の貴重な意見を元に、本学ですぐに取り組みること、改善まで時間を要することを見極めながら善処していきたいとの発言がありました。

最後に、総務担当理事より挨拶があり、平成28年度の学長と女性研究者との懇談会が締めくくられました。

■ 介護講演会開催

男女共同参画推進センターは、平成29年2月10日に、学内の教職員を対象とした介護講演会を開催し、事務職員を中心に26名が参加しました。

本企画は、男女共同参画推進センター・ワークライフバランス支援部会が中心となり企画したもので、講師として、本学医学系丹羽さよ子教授に依頼し開催したものです。

今回は、「介護家族のストレスについて」と題して講演をいただきました。介護者の孤立化や高齢者同士の老老介護など様々な課題が山積されており、現実を直視する必要性に迫られています。その中で、丹羽教授は、自身も介護に携わりながらキャリアを継続してきた経験を元に、介護に対する心構えを中心に、辛い状況の中にも、一筋の光明を見出すために必要なノウハウについて助言とともに意見を

述べられました。

講演会の後には、講師と教職員の交流会も開催され、参加者の間では、日頃他人には話しにくい介護に関する悩みなどが語られ、参加者相互による助言が交わされるなど、短時間にも関わらず非常に意義深い機会となりました。

また、当センターでは、この他、鹿児島市地域包括支援センターの協力による介護相談会を3回にわたり開催し、教職員の介護支援策を試行的に取り組んだところです。



講演会で説明する丹羽教授

■ 鹿児島大学男女共同参画推進センターの事業(平成28年度実施分)

鹿児島大学男女共同参画推進センターでは、平成28年度に下記事業に取り組みました。

◆センター企画

- 鹿児島大学附属図書館連携企画
- トップセミナー「ジェンダーバイアス縮減に向けて」
- ニュースレターの発行

◆広報・意識啓発関係

- オープンキャンパス企画「ガールズ☆TALK」
- 女子中高生のための鹿大科学体験塾
- 男女共同参画とキャリアデザイン

◆ワークライフバランス支援関係

- 夏季休暇中学生童保育
- 介護相談会(3回)
- 介護講演会・交流会「家族介護のストレス」

◆女性研究者支援関係

- 学長と女性研究者との懇談会
- muse カフェ
- キャリア形成セミナー
「企業の研究所に広がる可能性～働くて、おもしろい～」
- スキルアップセミナー
～インターネット時代とともに変化する英語論文執筆～
- メンター制度

◆その他

- 女性活躍推進法施行に伴う一般事業主行動計画開始(平成28年4月1日)
- 南薩養護学校における「かかわりにおける人権意識」について、当センターコーディネータによる講演開催
- 県立皆与志養護学校における人権同和教育に関する職員研修にて当センターコーディネータによる講演開催
- 鹿児島大学大学院連合農学研究科第3回男女共同参画セミナーにて当センターコーディネータによる講演開催
- 九州・沖縄アイランド女性研究者支援ネットワークシンポジウム副学長登壇
- 鹿児島県副知事特別講演会・意見交換会
- Q-wea 理事・副学長ネットワークに関する意見交換会参加(於 福岡女子大学)
- Q-wea 学習会参加(於 宮崎大学)

◆支援制度等

- 研究支援員制度
- 鹿児島大学保育支援制度
- 鹿児島大学職員育児休業等規則
- 鹿児島大学職員介護休業等規則

今年度も学内外様々な関係の皆様のご協力をいただき取り組んでいくことが出来ました。平成29年度も、過去の実績を継続しつつ、新たな視点で企画、取り組んでく予定です。

■ 水産学部における男女共同参画推進

「水産学部における男女共同参画推進」

水産学部では長らく女性教員が占める割合が約1割弱という状態が続いてきました。そこで、学部の女性研究者増加を目的として、平成25年4月の助教採用を皮切りに、プラスファクター方式による公募の取り組みを進めた結果、平成28年度末の海事職を除く研究員を含む教員等における女性比率は50名中7名の14%まで増加しました。さらに、女性上位職登用も積極的に推進した結果、平成28年5月に、本学部初の女性教授が誕生しました。また、水産学部では、技術職にも2名の女性が在籍しており、小型船舶や大型飼育施設の管理、潜水調査の補助や潜水機器の管理、分析機器の管理などを行い、乗船実習においても、女子学生のための指導体制を充実させています。その他、特徴的な試みとしてグローバル化に対応するための農水連携プログラムや国際連携プログラムがありますが、その分野でも女性が活躍しています。特に、後者においては専門のコーディネーターとして、平成28年10月に女性教員を1名採用しました。さらに、以前は女性の採用がほとんど無かった海事職においても1名の女性が従事しています。

今年度見直しを行った「学系等における男女共同参画推進に係る方針等」では、従前の取り組みに加え、新たに学系における男女共同参画責任者として学系長を指定する等、部局長主導のもと、プラスファクター方式の公募継続、女性研究者の応募推進策、女性研究者の学部主要ポストへの登用に係る積極的推進を掲げ、男女共同参画を進めていくこととしています。

男女を問わず、研究者を取り巻く環境がますます厳しくなる中、国内でも有数の水産学を専門とする学部のメリットを最大限に活用しながら、学部の教職員のみならず、学生にも良好な、ソフト・ハード両方の環境を整備、提供していくことで、本学部が、真の男女共同参画を実現し、新たなイノベーションへと導く原動力となるよう、また、国内外の女性研究者が、鹿児島大学水産学部への在籍を希望するような取り組みを進めていきたいと考えています。

(執筆：水産学部長 越塩 俊介 教授)



水産学部長
越塩 俊介 教授

■ 女性研究者在籍状況(H29/3/31現在)

平成29年3月31日現在 人数(比率)	
全体	224人(18.7%) : +23人(+1.7%)
教員	203人(17.5%) : +14人(+1.1%)
専任教員	172人(16.3%) : +12人(+1.1%)
自然科学系分野	97人(12.8%) : +7人(+0.9%)
理工農水分野	24人(6.6%) : +1人(+0.3%)

※右端の数字は、平成27年度同時期との比較

Information

<センターの取組> 3月

- ◆平成29年3月2日(木) 学長と女性研究者との懇談会開催
- ◆平成29年3月10日(金) 平成29年度文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアチブ」公募説明会参加
- ◆平成29年3月14日(火) 九州・沖縄女性研究者支援ネットワーク(Q-wea)構成大学理事・副学長等意見交換会参加(於 福岡女子大学)
- ◆平成29年3月19日(日) 九州・沖縄女性研究者支援ネットワーク(Q-wea)学習会参加(於 宮崎大学まちなかキャンパス)

<お知らせ>

平成29年4月1日より、鹿児島大学男女共同参画推進センターホームページURLが変更になりました。登録されている場合には、お手数ですが、ブックマークの変更をお願いいたします。

<https://www.kagoshima-u.ac.jp/atsume/>